

日遊協'09春ファンアンケート調査

「低貸し玉」経験者は倍増 パチスロへの不満変わらず

明日の遊技機を造る委員会は6月18日、本部で開かれた会議で、「'09春パチンコ・パチスロに関するファンアンケート調査」の結果を発表した。これは日遊協が一昨年、昨年に続いて、パチンコ・パチスロファンの志向の変化、ホールへの評価、プレーの実態などをアンケートしたもので、今年はホール調査に加え、インターネットによる調査も行われ、立体的な集計となった。

ホール調査は134ホール2654人、インターネット調査は1000人サンプルで、両方とも年代、男女比率などを合わせて行っている。両者の間で大きく異なるのは来店頻度で、ホール調査では週に3回のヘビーファン、インターネット調査では週1.5回のミドル・ライトファンとなっている。

その意味で、ヘビーからライトまで広範なファンをカバーする今回の調査は、大きな意義を持つものと言える。

7月16日には、この「ファンアンケート調査」の報告書（150ページ）が発行され、会員及び各関連の方々に配布された。

その内容は示唆に富んでおり、その一部を抜粋してレポートする。

2つのアンケート調査要項

ホール調査

| | |
|---------|-------------------|
| ■ 時期 | 2009年2月中旬～3月上旬 |
| ■ 対象 | 日遊協加盟ホールの来店客 |
| ■ 協力ホール | 25社134ホール（20都道府県） |
| ■ サンプル | 2,654人 |

インターネット調査

| | |
|--------|------------------|
| ■ 時期 | 2009年1月中旬 |
| ■ 対象 | 月に1度以上ホールに行っている人 |
| ■ サンプル | 1,000人 |

〈注〉インターネット調査のサンプル内容は、過去の来店客調査結果の年代構成に合わせて設定。男女比率、職業など、ホール調査と大きな違いはない。

パチンコをするか、パチスロをするか「表1」

パチンコ派へ移行が続いている可能性

ホール調査ではパチンコ派（パチンコだけでもしくは主にパチンコをしている人）の割合は54・9%。パチスロ派（パチスロ派だけでもしくは主にパチスロをする人）の割合は20%だった。また両方派（両方

表1-1 ●パチンコをするかパチスロをするか

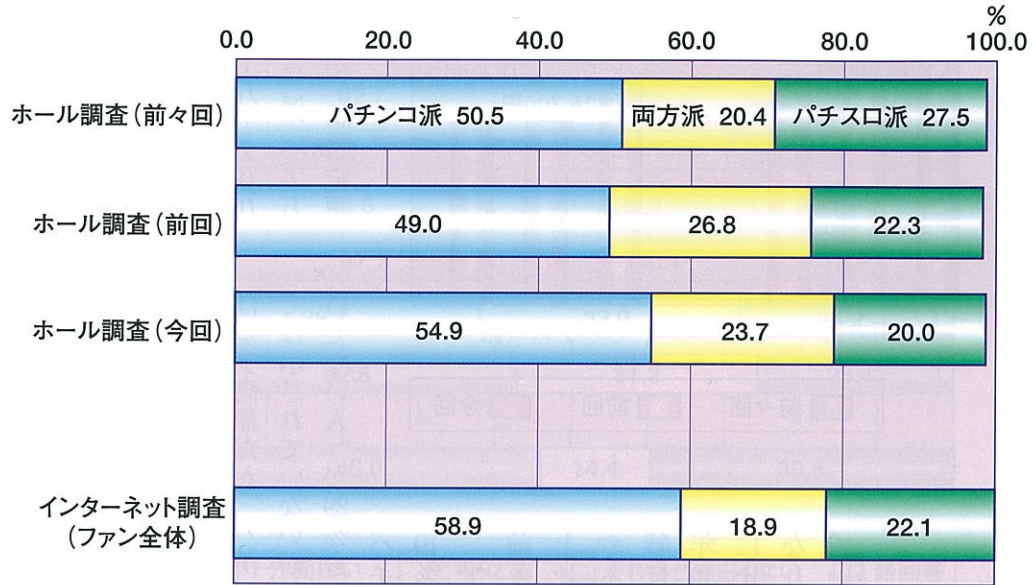
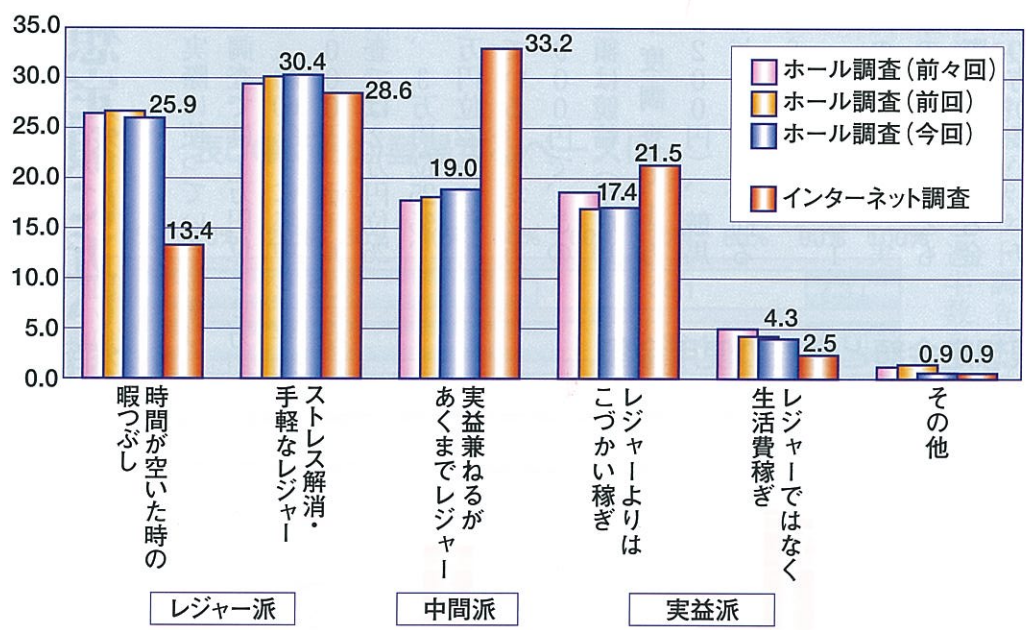


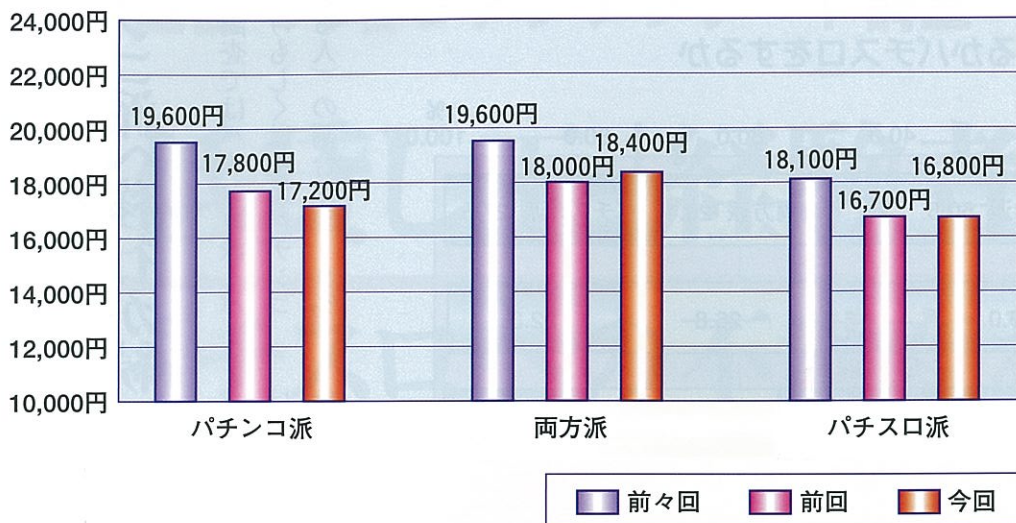
表1-2 ●ホールに行く目的



同じぐらいしている人）の割合は23・7%となっている。総体的にパチンコ派が多いが、若い世代（特に10〜20歳代）ではパチンコ派（25%）よりパチスロ派（31%）の方が多数派を占めている。インターネット調査（以下ネット調査という）ではパチンコ派が58・9%と多い。「表1」に見るとおり、パチンコ派が増えている傾向が続いており、パチスロ派の移行が続いているとも考えられる。客数が減っていれば、パチスロ派の一部がホールに来なくなっている可能性も考えられる。

【注】このレポートの中で、パチンコ派、パチスロ派、両方派の意味は本文の（ ）内を意味している。

表2●1回のプレーの上限と考えている金額
(パチンコ派とパチスロ派、平均額)



1回の投資額の上限として想定している金額は「表2」
パチンコ派が高いが、「決めていない」も多い

パチンコ派(平均1万7200円)の方がパチスロ派(1万6800円)より平均上限想定額

は多少高額だが、パチスロ派は表では示されていないが「上限を決めてない人」が29%もいて多い。

パチンコ派は19%。

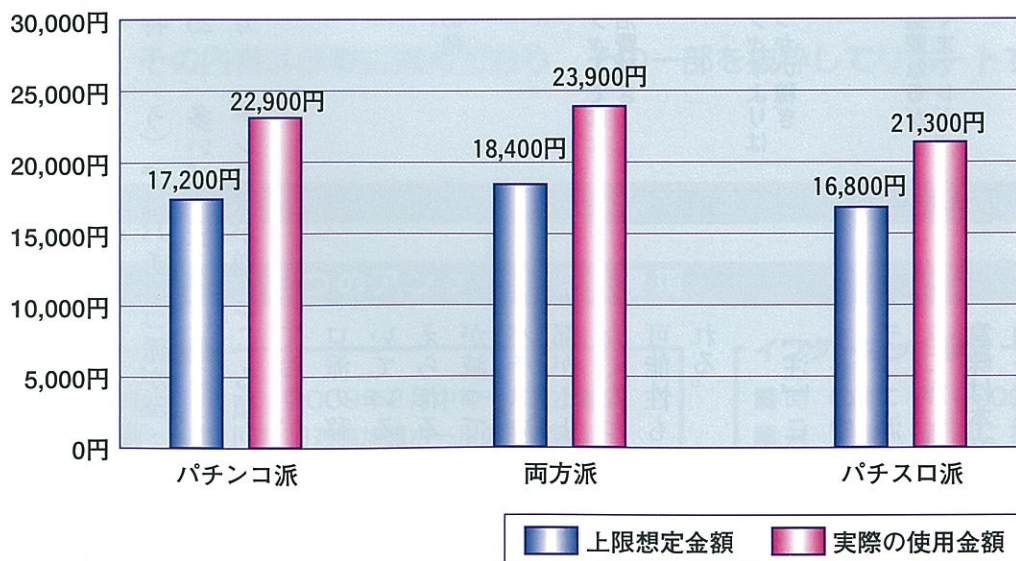
平均想定額は、前々回、前回と比べるとやや下降気味で、特に前々回(07年10月調査)に比べるとかなりダウンしている。

実際の1回当たりの投資金額「表3」
想定額に近い額でプレーしている

実際に使っている金額は、ネット調査では1万円位と2万円くらい(約60%)に集中し、平均1万7000円。ホール調査では2万円位26%、3万円位25%、1万円位22%に集中している。平均2万2900円で、この金額は競輪(平成19年度調査で1万8200円)、競馬などと同等か上回るぐらいである。

多数は、上限と考えている金額近くでプレーしていると考えられる。

表3●上限想定金額と実際の使用金額



「表3」どおり「1回の想定額」と「実際の額」は両派とも実際に使っている金額の方が多い。パチンコ派で1・33倍、パチスロ派では1・27倍と3割前後上回っている。ただ、上限を想定していない人も(2〜3割)いるので、ファンの大

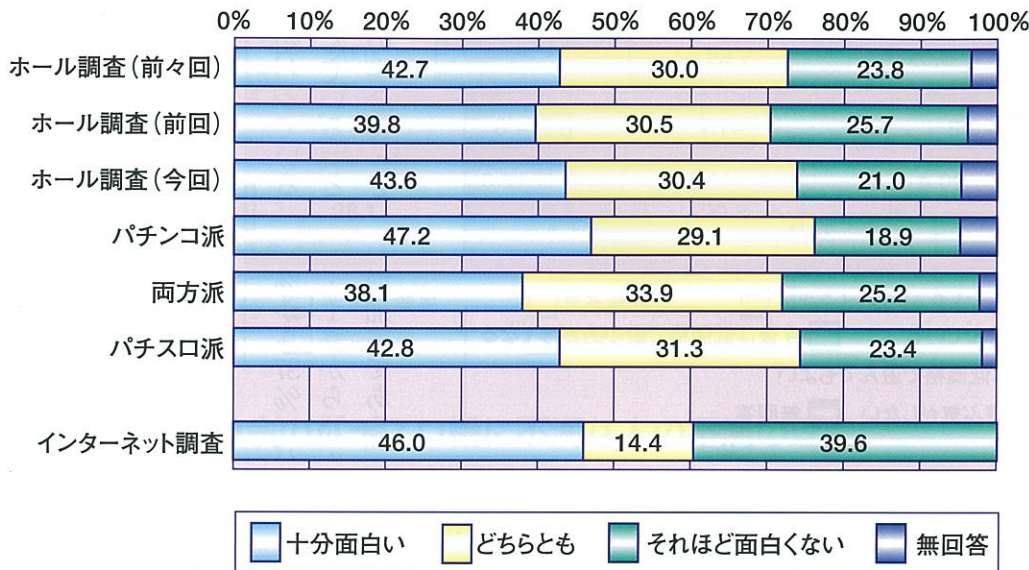
ゲームとしてのおもしろさ「表4」

ファンの評価は比較的高い

「十分おもしろい」という人が「それほどおもしろくない」という人を上回っており、ファンの評価は比較的に高い。どちらかといえばパチンコ派の方が47・2%と

より評価が高い。ネット調査では面白い(46・0%)、それほど面白くない(39・6%)と評価がはつきり分かれているのが特徴的だ。

表4●ゲームとしての面白さは



新台が登場するペース「表5」

入れ替え早める必要はない

新台が登場するペースについては、「遅すぎる」という人は極めて少なく、ホール調査では「適当」が51・5%、ネット調査では「早すぎる」が54%と過半数を占めて

いる。「早すぎる」という人はホール調査でも32・2%と少なくないので、今以上に新台入れ替えのペースを早める必要はないと考えられる。

表5●新台が登場するペースは

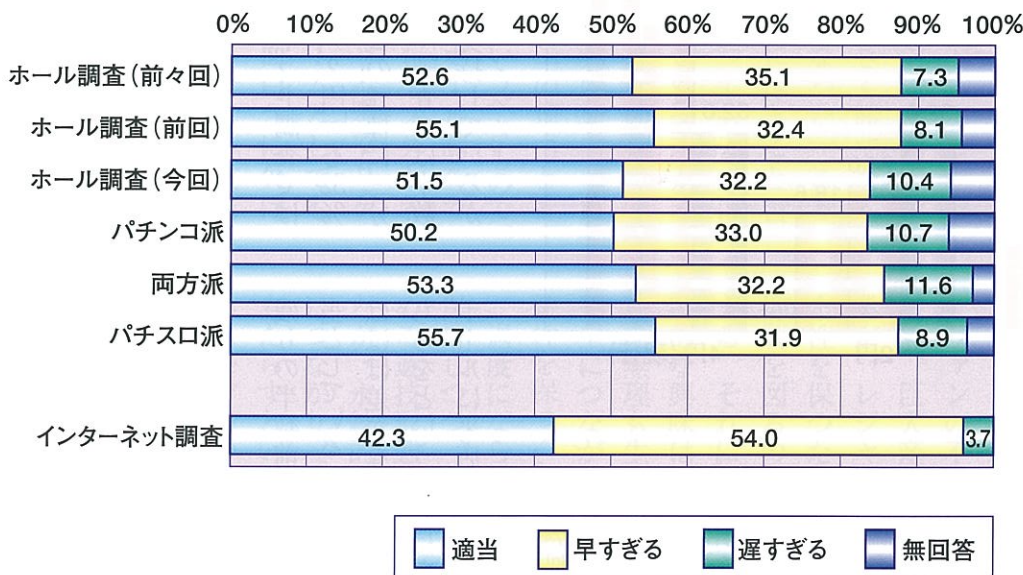
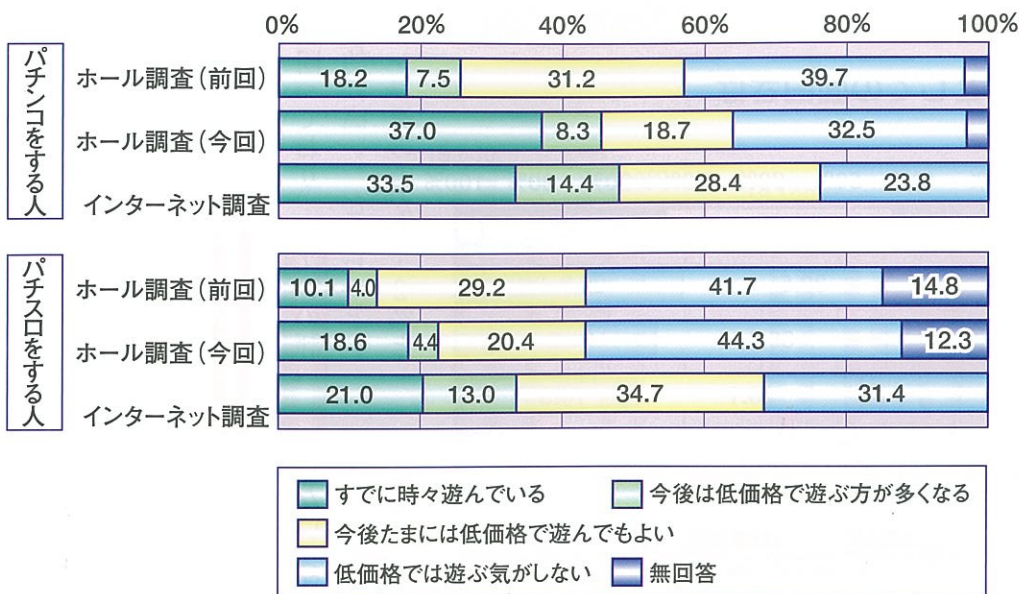


表6●低価格ホールでの今後のプレー意向

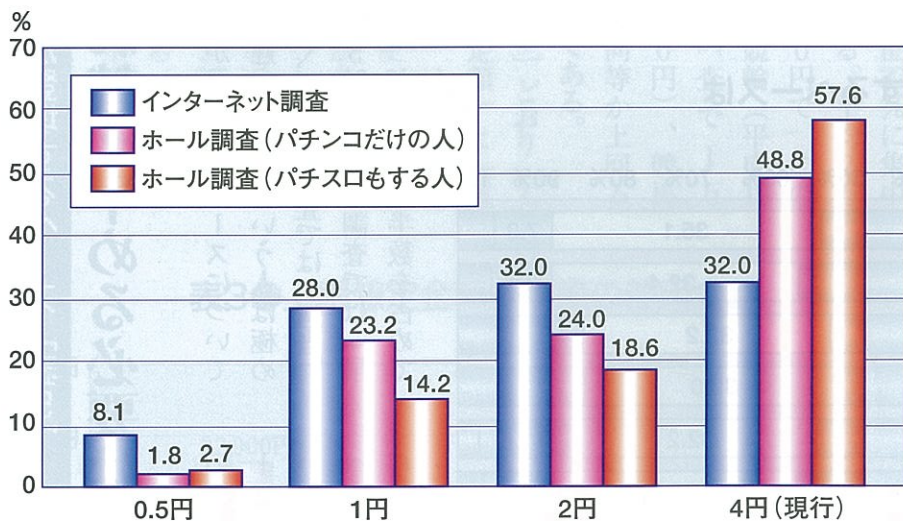


前日調査と大きく変わっているのは「すでに時々遊んでいる」という人で、パチンコの場合18・2%から37%、パチスロの場合も10%から18.6%と倍増に近い増加率である。ネット調査でもパチンコが33・5%、パチスロが21%とかなりの割合になつている。「すでに時々遊んでいる」という人は、年代の高い人(特に女性)の頻度が週1〜3回の人に多い。「遊ぶ気がしない」という人はパチスロの人に多く、パチンコの場合は約40%から約33%に減つている。

低貸し玉・メダルのホールでのプレー意向「表6」

「すでに遊んでいる人」が37%に

表7●パチンコの最適な貸し玉料金は



貸し玉料金は、ネット調査では「4円」が32%、「2円」も32%、「1円」が28%とこの三種に三分されていいる。ホール調査では半数前後が「4円」を支持しているが、残りの半数前後の人は低価格を適当としている。「2円」と「1円」はほぼ差がなく、ファンは特にどちらをとという傾向はないようだ。ホールに来店している人の半数前後、ネット調査では7割近い人が低価格を適当としており、低価格志向が現れている。

表は掲載されていないが、パチスロに関しては、ホール調査で全体では64%が現行の「20円」を支持している。特にパチスロしかしていない人は72%と大多数が現行のままがいいとしている。

最も適当な貸し玉料金「表7」

パチンコでは「4円時代」が後退

表8●今のパチスロ機に対する満足度

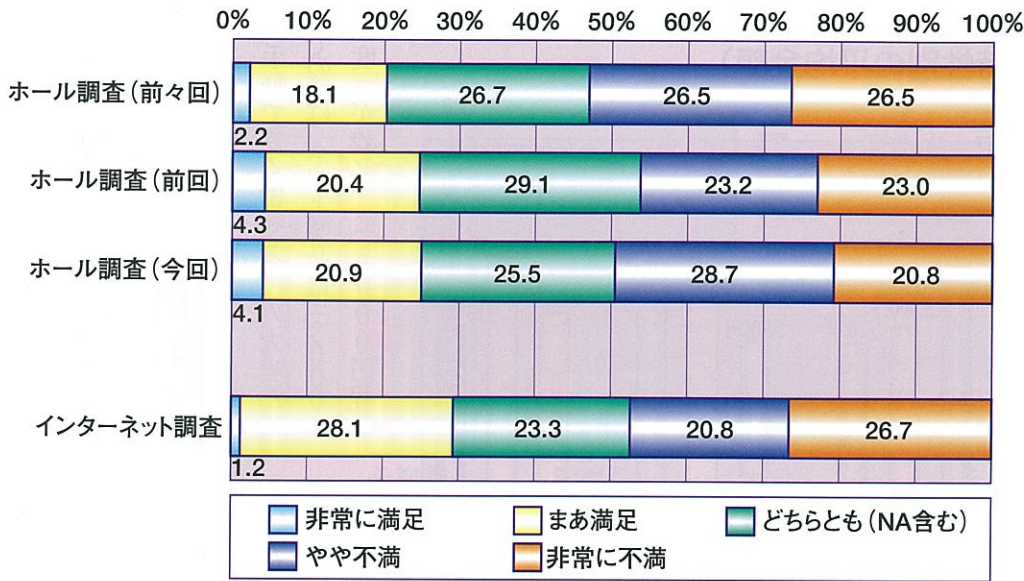
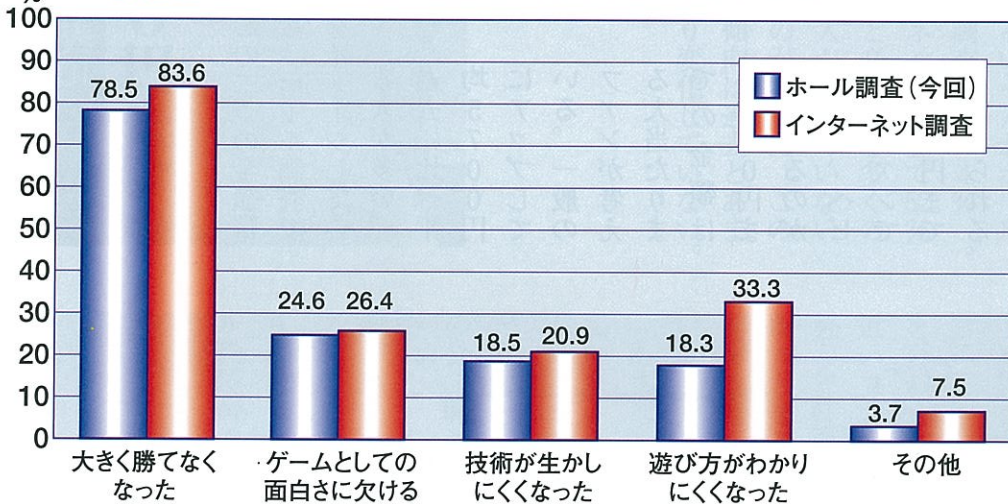


表9●今のパチスロ機に不満な人の不満の理由



今のパチスロに対する満足度と理由 [表8・表9]
依然として不満強く、「勝てない」

今のパチスロに対する満足度は芳しいものではない。ホール調査では若干の回復傾向は見られるものの、依然として満足しているフ

アンは少ない。「非常に満足」という人はごく僅か(4・1%)、「まあ満足」という人も20・9%で、満足している人は4人に1人

(25%) しかない。インターネット調査でも満足している人は3割弱でしかない。

今のパチスロに不満を表明している人(パチスロファンの半数前後)の最大の理由は、大多数といってよい8割前後の人があげている「(5号機移行後)大きく勝てなくな

適度な射幸性は保持しつつ、多くの人が長く楽しめる遊技形態を

ファンの不満は理解できるとしても、巨大産業に成長した遊技産業が、レジャーとしての社会的健全性を保つために過度な射幸性の抑制を図るのは当然の措置とも言える。それに、過度な射幸性は一時的な興味は引きつけるにしても、反面無理も生じがちで社会問題の発生につながったり、ファンの継続性を保つことも難しくなる。

過度にならない程度の射幸性は保持しつつ、多くの人が長く楽しめる遊技形態を不断に模索することが、永続的で大きなファン獲得につながり、業界の長期的繁栄をもたらすという視点に立ったビジネスモデルの構築が何より必要な時期と考えられる。

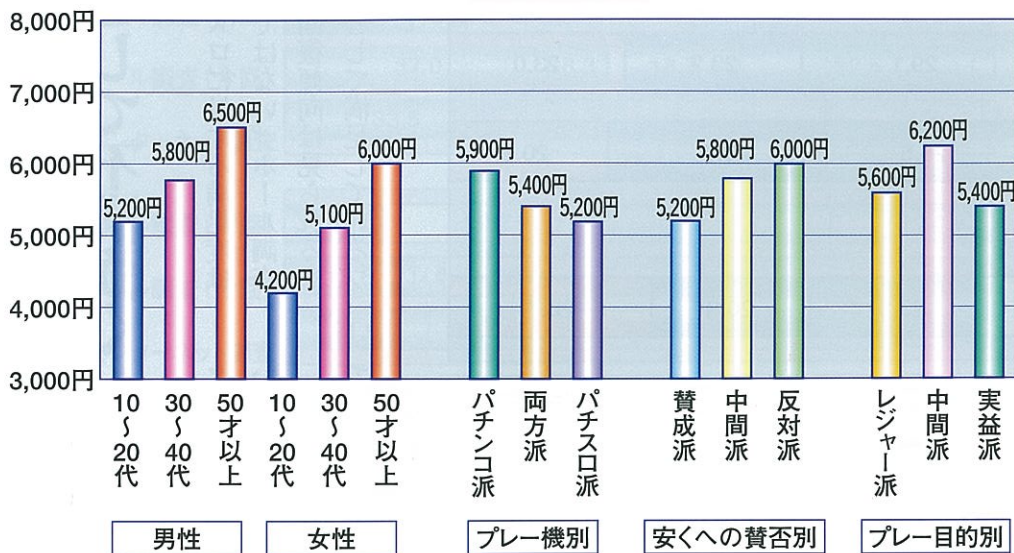
「手軽で安く遊べる」の投資額のイメージ「表10」

大当たりまでの投資額は5000円まで

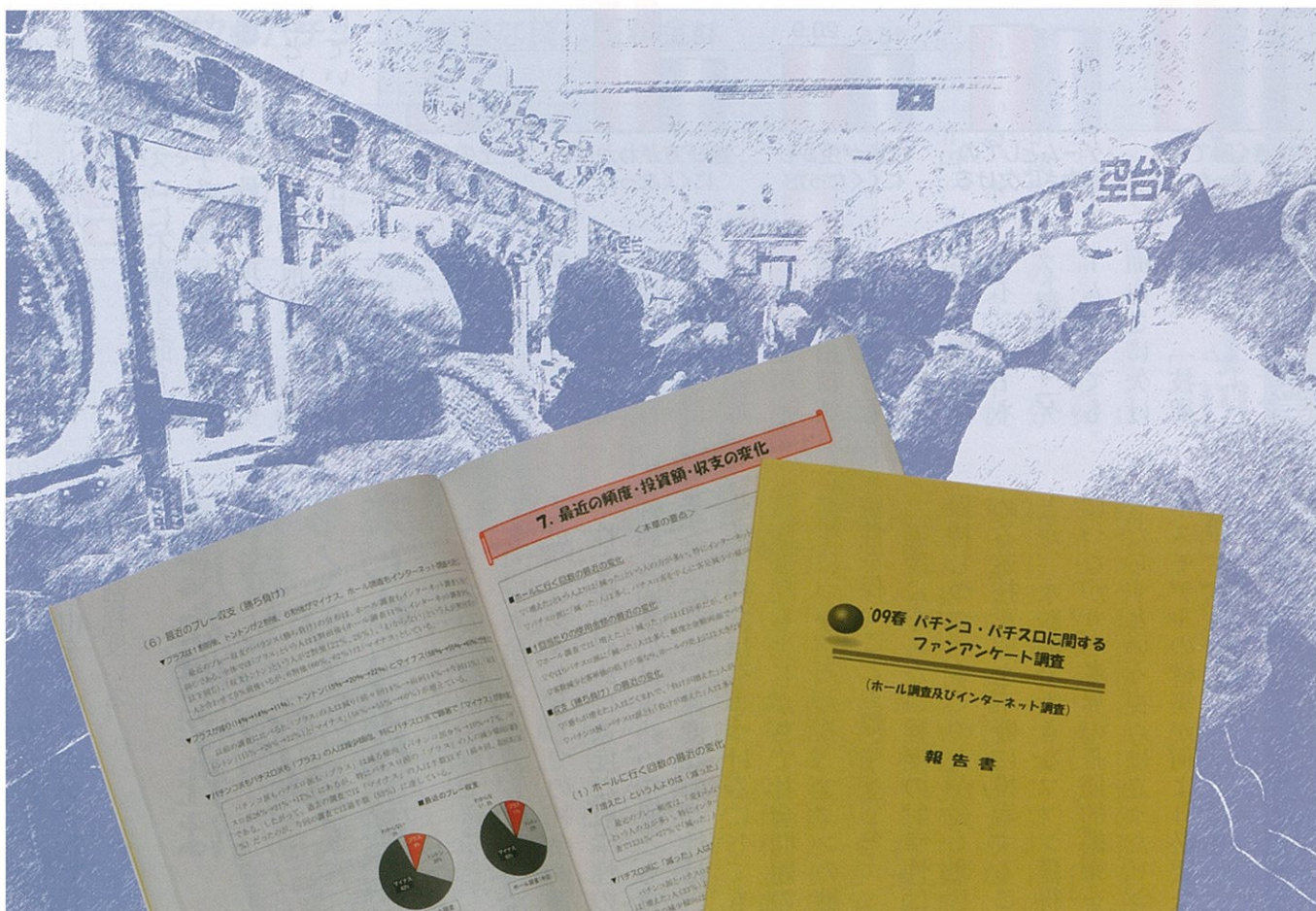
「手軽で安く遊べる」の大当たりまでの額は、ネット調査では「3000円程度」が42%、「5000円程度」が39%と、この二つの金額帯で8割強を占める。ホール調査では、高めの金額をイメージしている人が多い。

「手軽で安く遊べる」の大当たりまでの額は、ネット調査では「3000円程度」が42%、「5000円程度」が39%と、この二つの金額帯で8割強を占める。ホール調査では、高めの金額をイメージしている人が多い。

表10 ● 「手軽に安く遊べる」でイメージする大当たりまでの投資額 (ファン特性別の平均金額)



過去に比べ平均5700円にアップしている。一般のファンが考える大当たりまでの金額は5000円までと見るのが妥当で、ヘビリーなファンでも1万円までと考えられる。年代別では男女とも高年代になるほどイメージ金額は高くなり、パチンコ派の方が高い。



「投資額増大批判と抑制」に対するファンの見解 「表1」

「抑制する必要はない」人が多い

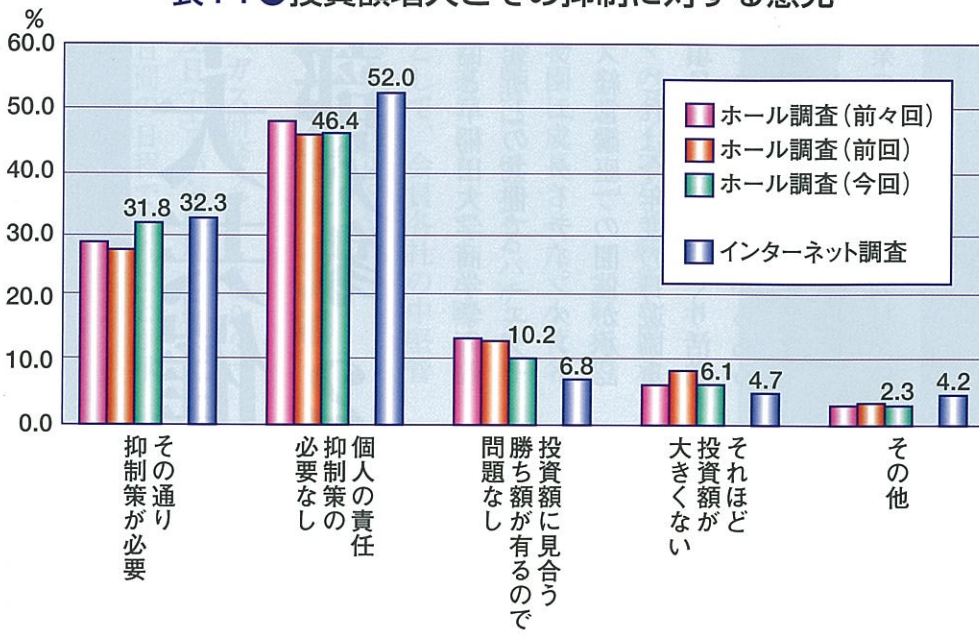
ホールの努力を高く評価

最近の投資額が大きくなりすぎていることは、大多数（ホール調査78%、ネット調査84%）もそう

見ている。しかし、抑制策の必要性については、「そのとおりだ」とする人はともに32%前後で、「抑制策は必要ない」という人がホール調査で46・4%、ネット調査で52%と必要性を多くの人が認めていないのが特徴だ。この傾向は過去とあまり変化していない。

ファンの大多数が最近のホール環境について、安心して遊べるように改善されてきたと見ている。ホール調査では「非常に」 「大分改善」を合わせると8割近いファンが改善努力を評価している。ネット調査でも7割が改善を認めている。ホール調査で、「あまり改善されていない」と見るファンは27% ↓ 19・9%と減り、その分「非常に改善された」が15・1% ↓ 23・9%となっているのが注目される。このホール環境の変化ぶりをもっと広くアピールすべきであると考えられる。

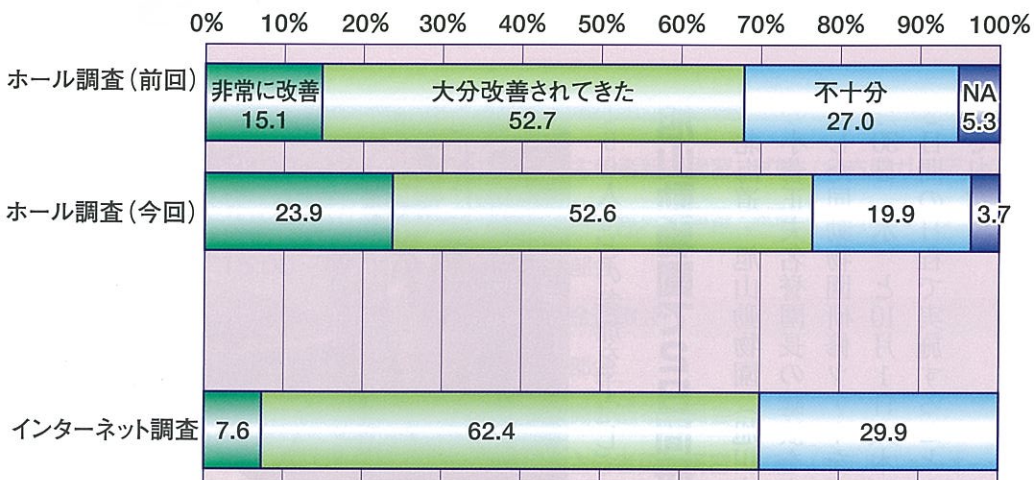
表11 ●投資額増大とその抑制に対する意見



抑制策は必要ない」という人がホール調査で46・4%、ネット調査で52%と必要性を多くの人が認めていないのが特徴だ。この傾向は過去とあまり変化していない。

「あまり改善されていない」と見るファンは27% ↓ 19・9%と減り、その分「非常に改善された」が15・1% ↓ 23・9%となっているのが注目される。このホール環境の変化ぶり

表12 ●最近のホールは安心して遊べる環境に改善されているか



をもっと広くアピールすべきであると

